

改良ハンドクレーン発売へ アイコクアルファ、2機種

自動車部品製造のアイコクアルファ(本社稲沢市祖父江町、樋田克史社長)は、荷物の移動作業を支援する

ハンドクレーン「ラクラクハンド」シリーズに、改良を加えた2機種を10月1日から1年1月にかけて発売する。



アームの出っ張りを短くした「AU060型」

第2アーム内の構造を工夫し、アームの出っ張りを700ミリ短くした「AU060型」を10月に発売。出っ張りが短いため、低天井・狭小エリアでも使用できる。昇降ストロークは1500ミリで、エアで段ボールなどを吸着して運べる。昇降ストロークは既存品より摩擦抵抗を減らし、滑らかに動かせる。またセンサーを設置することで無線化し、第2アームから手元までの電線を無くした「ハンディーハンドRK030型」を来年1月に発売。コードが絡まった引掛掛かたりすることがなく、狭い場所での作業に向く。